

グラフで見る中国経済 2020年8月号(No. 135)

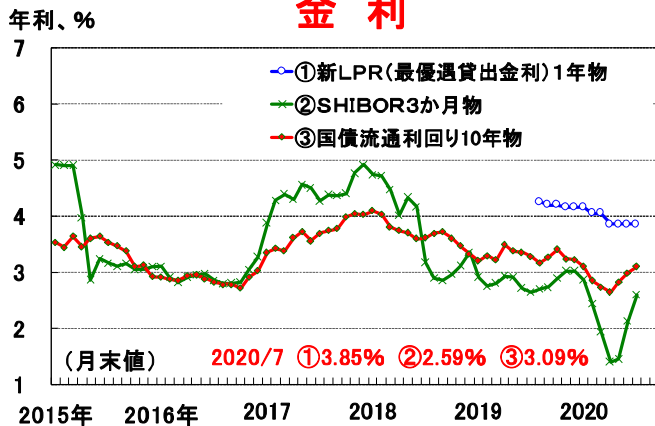
20年4～6月期の中国の実質GDP(国内総生産)は前年比+3.2%と、コロナ禍により大幅なマイナス成長を記録した前期(同-6.8%)に比べて改善した。4～6月期は固定資産投資が前年比+3.6%と増加に転じた。内訳をみると、習近平体制が財政出動を強化し始めた効果から、公共インフラ関連が新型コロナ流行前の勢いに復調した。一方、通関輸出は同期に同+0.1%と前年並みの水準に持ち直した。新型コロナがまん延している欧米諸国からの医療物資の需要増加に対応したことがこの背景にある。同期の小売売上高も同-3.8%と減少幅が大きく縮小した。

【足元の景気判断】

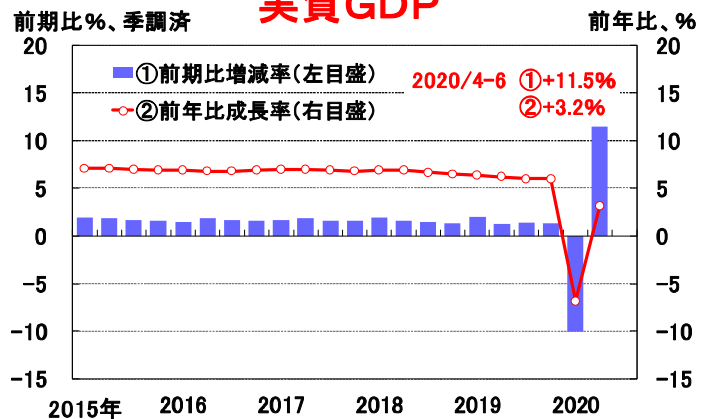
| 指標 | 景気全般 | 輸出 | 固定資産投資 | 小売売上高 | 鉱工業生産 | 製造業PMI |
|------|------|----|--------|-------|-------|--------|
| 判断結果 | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

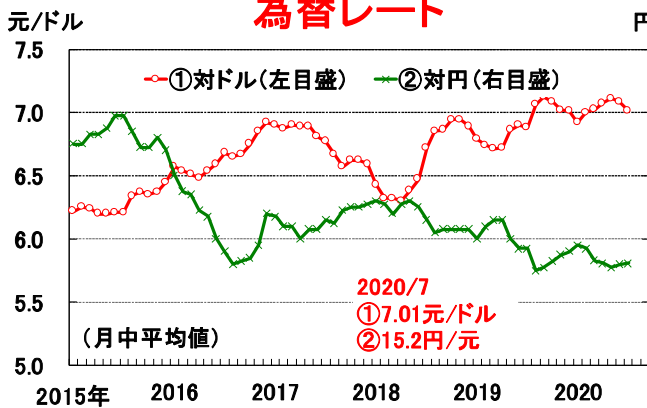
金利



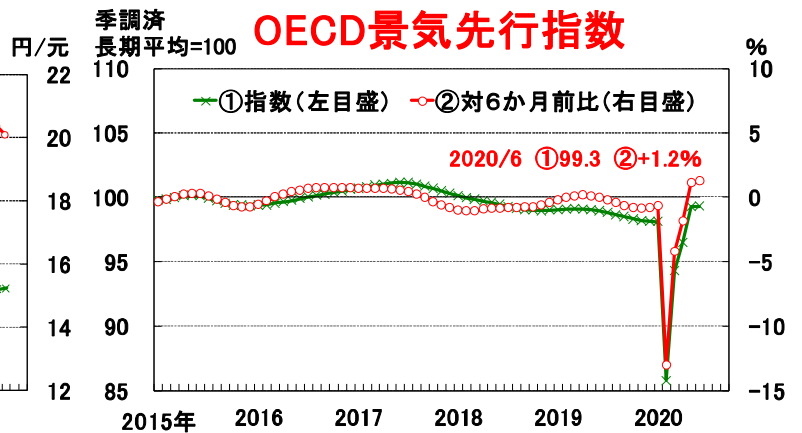
実質GDP



為替レート



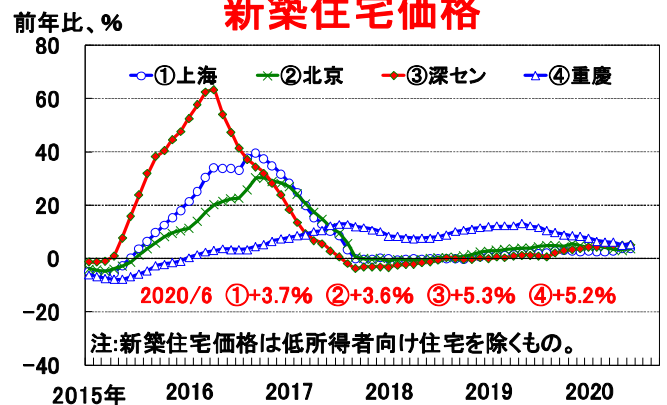
OECD景気先行指数



上海総合指数(株価)



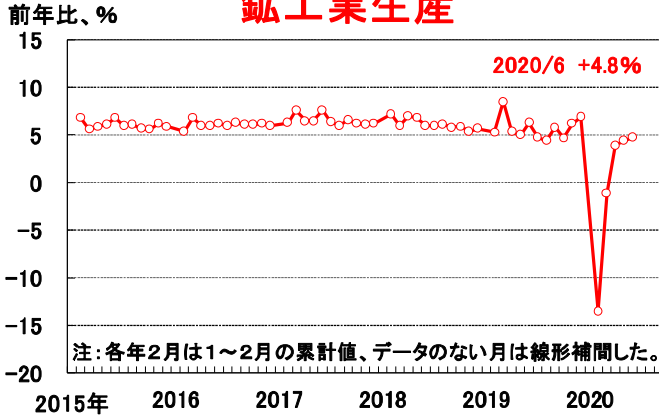
新築住宅価格



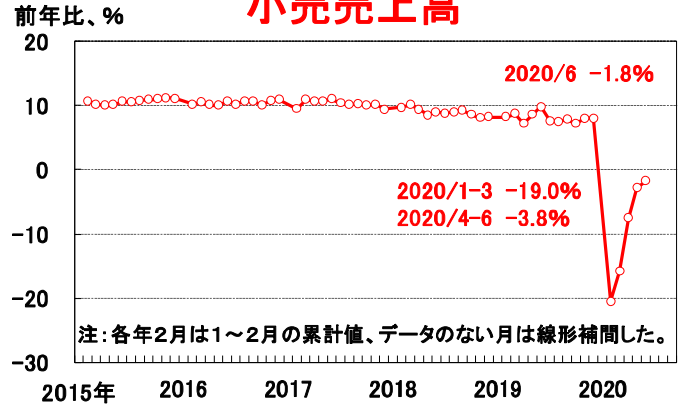
(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

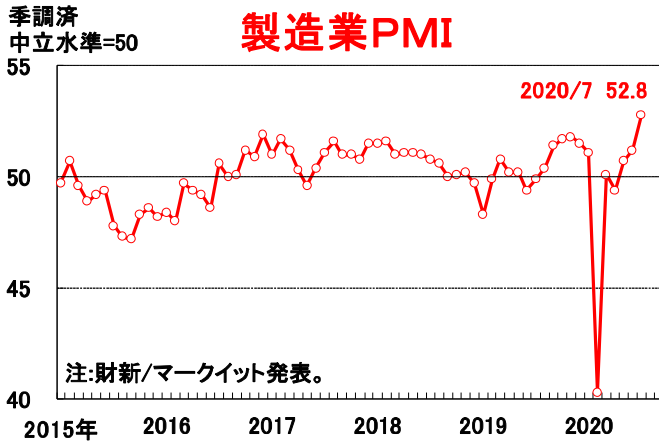
鉱工業生産



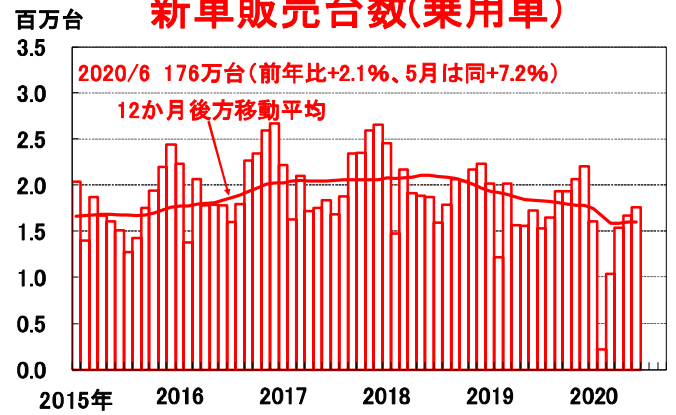
小売売上高



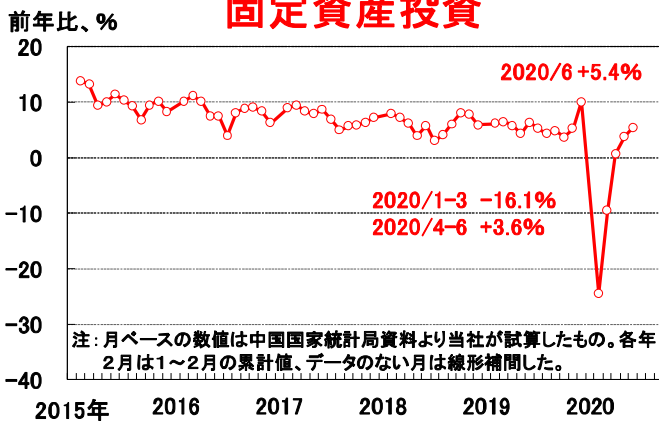
製造業PMI



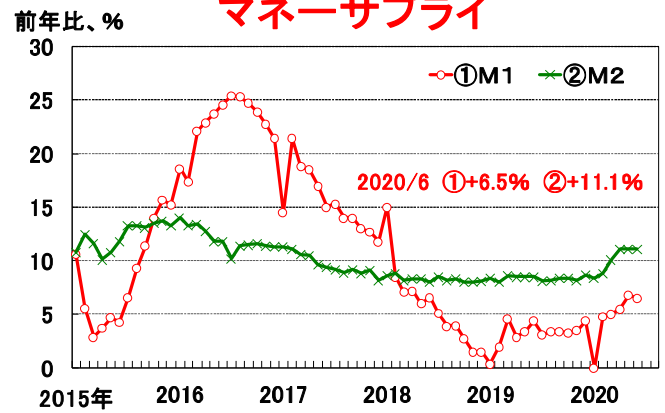
新車販売台数(乗用車)



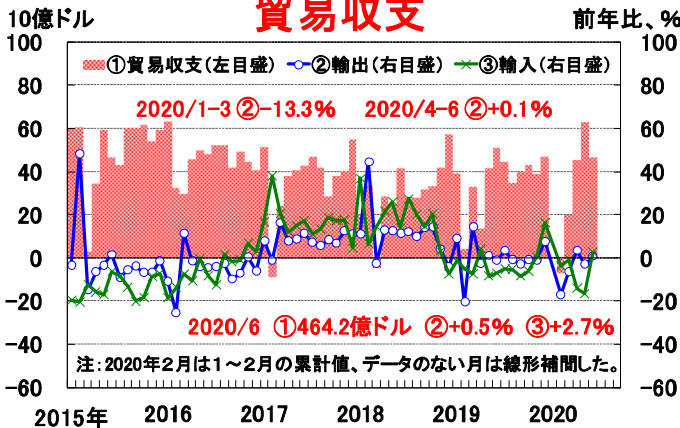
固定資産投資



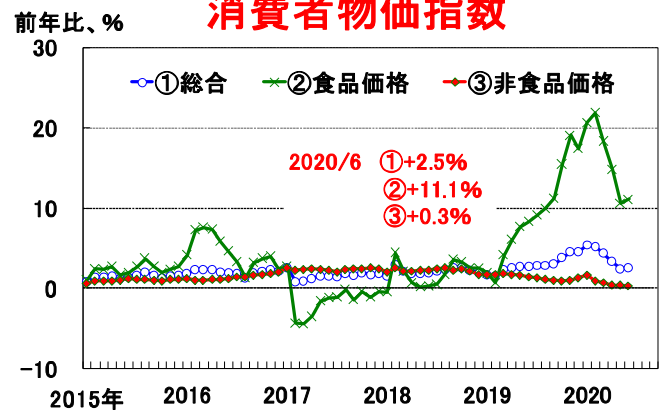
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。